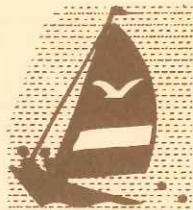


会員だより

1980
8
NO.2



◆発行 所沢市高齢者事業団

所沢市西新井町20-1 ☎ 0429(95)0095・0044

健康と働くことへの理解

副理事長 大河原 正一



当高齢者事業団は開設以来、早や三年目を迎え、その間、市当局の適切な御配慮と会員の協力によって、比較的短期間に安定した運営が基礎づけられたことは誠に御同慶に堪えません。

さて、この基礎の上に立って、お互いに会員としての就労を考えて見る時、

先ず健康な体力の維持と働き易い精神的環境が必要だと思います。

従って、日常の健康管理に留意し、健康上心配される様な際は、無理をさけ、又就労中の安全確保には充分注意して頂きたいものです。

次に精神面では働くとしても「家族の同意が難かしい」「近隣者への迷惑」「就労現場を見られることの世間体」があるようにもうかがっておりますが、これらは、未だ社会的環境が整わなかったがために起る一つの現象だと思います。将来、益々高齢者が増加してゆく現状から、高齢者による就労が期待されることが大きいので、私たち会員は何時でも就労出来る健康な体力と、就労し易い精神的環境を望みたいと思います。

なお、毎日の就労と生活の中にも余力が欲しいものあります。

開設以来の新記録

六月の契約高

早いもので五十五年度も五ヶ月が過ぎました。四月から七月まで四ヶ月間の主な事業実績は次のようになっております。

特に、六月は仕事の受託件数と契約額は、開設以来の新記録でした。なお、会員が働いて得た報酬(配分金)も六百万円を越えたのは初めてです。

しかし、月平均の就労率(会員数に対して、その月に就労した実人員の割合)は三割弱で、残念ですが満足のいく数ではありませんでした。これからは少くとも40パーセント就労を目標に頑張りたいと思います。会員皆さんのご協力が望されます。

事業実績(4月～7月)

月別	会員数	仕事の受託件数	就労実人員	契約額(うち配分金)
4	332	112	93	5,519,298円 (4,957,894円)
5	340	128	107	5,923,868 (5,504,563)
6	346	154	103	6,256,181 (5,587,793)
7	354	134	102	5,898,405 (5,464,074)

* いづれも各月末現在の数です。

就労中の災害に注意しましょう

6月から8月にかけて就労場所への途上や、就労中の災害が続けて4件発生しました。

就労途中での交通災害が1件、工場で作業中の負傷が2件と、家屋の塗装作業中脚立から落ちて、足の骨を折った事故が1件ありました。

前年度までは就労災害ゼロを誇りとしていましたが、ついに1年7ヶ月で無災害記録に終止符を打ちました。

とかく暑い季節は事故が起り易いといわれております。就労される皆さん、怪我や病気にならないよう充分気を付けましょう。



『第二の人生』への仕事

松井地区 山本菊三

昨年四月、事業団のお世話で八州電機に勤めて一年五ヶ月になろうとしています。

朝八時半、城の所沢配送センターに出勤、皆と共にラジオ体操を行い、書類を持って東所沢発八時五十四分の電車で南浦和乗りかえで新橋の本社へ、そこから麻布の別館へ、又本社に戻り出来上った書類を持って二時の電車で配送センターへ三時半に戻る。これが毎日の仕事です。

四十余年、多勢の仲間と技術畠に生活して来た者にとっては 180 度以上の転換であり、戸惑いと不安を感じました。しかし、一ヶ月二ヶ月と勤めているうちに、与えられた仕事への責任感を深く感じ会社に迷惑をかけないようにと思うようになりました。

初め軽かった書類も月日を重ねるごとに重くなり 10 キロ位ある時もあります。それだけ会社も信頼してくれていると思うと、それに答えるためにも頑張らなくてはと思うのです。

幸い体は至って健康で毎朝六時に体操をやり二キロのジョギングをしています。若い時から走り、泳ぎ、多くのスポーツに親しんで来たことがどんなことにも耐えられる精神を与えてくれたと感謝しています。

会員の皆さんに申し上げたいことは、過去の名誉や地位、仕事にとらわれることなくやろうという気持があればどんな仕事でも出来ると云うことです。

老い込むことなく、ささやかでも社会のために役にたてるという気がいと、どんな人とも和やかに接する心を持っていくならば、高令者に対する世間の目も変わっていくと思います。会社の人達も毎日気持良く温かい言葉をかけて迎えてくれます。事業団のモットーである「生きがいと喜び」を感じながら一年五ヶ月一日も休むことなく頑張っています。

「事業団」との出会い、そして、「八州電機」とのふれあいを大切にしていきたいと思います。



市の主管部長さん 課長さんなど異動

八月一日付所沢市の人事異動に伴って、当事業団関係の部長さん、課長さんが次のとおり異動になりました。

特に、海老沢さんには設立準備の当時から懇切なご指導をいただき、事業団の今日があるのは部長さんの功績に負うところ、誠に大きいものがあるといえましょう。

また、後任の内野さんも経済部長当時、高齢者事業団を設立するかどうか検討のころから設立まで、中心になって推進され、再度ご指導をいただくことになった訳です。

なお、沢田さんには事業団業務担当窓口の課長として、日ごろ細かいご指導をいただき大変お世話になりました。

ちなみに、この三人の方は当事業団の理事をお願いしております。

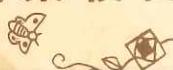
▶生活福祉部長 海老沢賢一さんから内野勝次さんに。

▶経 済 部 長 内野勝次さんから吉田徹四郎さんに。

▶老人福祉課長 沢田昭治さんから芳野 一さんに。



編集後記



大変遅れましたが第2号発行の運びとなりました。仕事の方は会員皆様のご協力のお陰で順調です。次号には会員の文芸作品などを掲載できたらと考えています。ご投稿をお待ちいたします。